

## 教育委員会 8 月定例会会議録

1. 日 時 平成30年8月21日(火)午後4時00分～
2. 場 所 ウララⅡ(7F)会議室1
3. 出席委員 教育長 井坂 隆  
職務代理者 説田 賢哉  
委 員 松延 芳子  
委 員 今野 登喜子  
委 員 鈴木 敏之
4. 委員以外の出席者  
教育部長 服部 正彦 参 事 菊地 正和  
教育総務課長 平井 康裕 学 務 課 元川 宏  
文化生涯学習課 佐賀 憲一 スポーツ振興課 根本 卓也  
国体推進課 北島 康雄 指 導 課 鶴田 由紀子  
図 書 館 入沢 弘子 博 物 館 木塚 久仁子  
上高津貝塚 黒澤 春彦 国体推進課 寺崎 敏彦
5. 議 題
  - (1) 議 案  
議案第22号 平成30年度土浦市一般会計補正予算(第2回)に対する意見について  
(スポーツ振興課・国体推進課) (非公開)  
議案第23号 (仮称)土浦市立学校給食センター建築主体工事請負契約の締結に対する意見  
について (学務課) (非公開)  
議案第24号 (仮称)土浦市立学校給食センター電気設備工事請負契約の締結に対する意見  
について (学務課) (非公開)  
議案第25号 (仮称)土浦市立学校給食センター機械設備工事請負契約の締結に対する意見  
について (学務課) (非公開)  
議案第26号 財産の取得((仮称)土浦市立学校給食センター厨房機器物品購入)に対す  
る意見について (学務課) (非公開)  
議案第27号 平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価報告書  
について (教育総務課) (非公開)
  - (2) 報告事項
    - ①川口運動公園野球場におけるファウルボールによる車両破損事故の和解について  
(スポーツ振興課) (非公開)
    - ②第3回土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催結果について (学務課)
    - ③「第87回土浦全国花火競技大会」開催に伴う生涯学習館の臨時休館及び図書館の閉館時間  
の変更について (文化生涯学習課)
    - ④土浦市立博物館テーマ展及び上高津貝塚ふるさと歴史の広場企画展について

(土浦市立博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場)

⑤平成 30 年度全国学力・学習状況調査結果の概要について (指導課) (非公開)

⑥土浦市公立学校県費教職員の人事異動について (指導課) (非公開)

6. 傍聴者 なし

7. 議事内容

教 育 長 それでは、定例会を始めたいと思います。本日は議会提出前ということで、議案第 22～27号、報告事項①⑤⑥につきましては非公開でお諮りしたいと思います。報告の⑥番については、教育部長と参事、指導課長、教育総務課長以外は退出ということをお願いしたいと思います。

それでは、議題に沿いまして、教育長の報告事項お願いいたします。

————— 7 月 2 5 日以降の行事について報告 —————

教 育 長 それでは、議案に移ります。

議案第 22 号から 27 号については議会前ですので、また、報告事項①⑤⑥についても非公開をお願いします。

【議案第 22 号 「平成 30 年度土浦市一般会計補正予算（第 2 回）に対する意見について」を協議】 (非公開)

【議案第 23 号 「(仮称) 土浦市立学校給食センター建築主体工事請負契約の締結に対する意見について」を協議】 (非公開)

【議案第 24 号 「(仮称) 土浦市立学校給食センター電気設備工事請負契約の締結に対する意見について」を協議】 (非公開)

【議案第 25 号 「(仮称) 土浦市立学校給食センター機械設備工事請負契約の締結に対する意見について」を協議】 (非公開)

【議案第 26 号 「財産の取得（(仮称) 土浦市立学校給食センター厨房機器物品購入）に対する意見について」を協議】 (非公開)

【議案第 27 号 「平成 29 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価報告書について」を協議】 (非公開)

【報告事項 「①川口運動公園野球場におけるファウルボールによる車両破損事故の和解について」を協議】 (非公開)

教 育 長 よろしいでしょうか。それでは、次の上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催結果について、学務課をお願いします。

学 務 課 資料の 49 ページをお願いいたします。

まず初めに、お手数をお掛けして申し訳ございませんが、資料の訂正をお願いしたいと存じます。5番、議事結果の(1)スケジュールについて、(2)上大津地区小学校適正配置の方向性についてということで、全部で五つの文章が書かれています。こちらの文末に、お手数でも「こととする。」という追記をお願いしたいと思います。例えば一番上の部分で申し上げますと、「中間提言を行うこととする。」ということで、こちらスケジュールについてと(2)の文章、全ての文末のほうに「こととする。」という文言を付け加えていただければと思います。よろしくお願いいたします。

説明に入らせていただきます。

上大津地区小学校の適正配置につきましては、6月に各小学校地区で実施いたしました説明会の結果につきまして、前回7月の定例会で報告させていただいたところでございますが、7月31日に第3回土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会を開催いたしましたので、その結果について報告させていただきます。

今回の検討委員会は資料に記載のとおり、新治学園義務教育学校を会場として開催いたしました。会議とあわせて同校の内覧も実施いたしました。出席委員全部で14名による協議の結果、「5. 議事結果」のとおり、今後のスケジュールにつきましては、平成30年、今年10月ごろに上大津西小学校の暫定的な対応に関する中間提言を行いまして、平成31年、来年6月ごろに上大津地区全体の適正配置に関する最終提言を行うということとなりました。

また、適正配置の方向性といたしましては、今後も適正な教育環境の維持が可能な神立小学校を除いた3校、上大津東小学校、上大津西小学校、菅谷小学校の諸問題解消のための適正配置を行うことといたしまして、そのための新たな学校の位置、形式等につきましては継続して協議していくこととなりました。

なお、3小学校の適正配置を進めるに当たりまして、上大津西小学校につきましては、複式学級の解消のために平成31年度末までに暫定的に菅谷小学校に統合して、早急に子供たちの健やかな教育環境を整えるということとなっております。

その他、会議の中で委員の方々からいただいた意見等につきましては、(3)その他の主な意見に記載のとおりで、今後これらの意見等も踏まえまして、協議・検討を継続してまいりたいと考えております。

最後に6といたしまして、上大津西小学校の暫定的な対応に関する今後のスケジュールを案ということでお示しさせていただきました。

この案件につきましては、今後も随時経過を報告させていただくとともに、学区審議会への諮問や、場合によっては条例改正等も考えられますので、その際にはまた改めてご審議いただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

教 育 長

上大津西小と菅谷小を最初に一緒にするという案でございます。その後全体を考えると。ご質問でございますでしょうか。鈴木先生、何かございますか。

鈴 木 委 員

これは31年度末までに統合するというのはもう決定ですか。

学 務 課

今後の方向性といたしまして、31年度末までに統合することとするということでございます。

鈴 木 委 員

方向性を提案したということ。

学 務 課  
鈴木委員  
学 務 課  
鈴木委員  
教育部長  
今野委員  
学 務 課  
教育部長  
教 育 長  
教育部長  
教 育 長  
説田委員  
学 務 課

そうです。  
それはいつ議会に……。  
統合に当たって、例えば上大津西小学校を廃校にするのか、あるいは選択肢の一つとして休校扱いにして残しておくのか、その辺をまた今後協議いたしまして、次回10月に検討委員会を予定しておりますが、そこで中間提言ということでまとめさせていただいた後、こちらの定例会で報告、あるいは学区が変わるのであれば、学区審議会への諮問についての議決をいただきまして進めてまいりたいと存じます。  
わかりました。  
あくまで検討委員会は提言をする機関でございますので、提言を受けて教育委員会がどう判断するか、そして最終的に議会の、条例等の改正等の必要があれば議会の判断をいただいて、それが正式になるという形で手続は進めます。決定は基本的には教育委員会になります。ただ、市長部局とも協議して、学校の設置等については市長の権限の部分もありますので、その辺の内部協議も必要になります。  
最終的にいついつまでこの適正配置を完了するという見通しはないですか。これからの流れによって多少遅くなったりとか、そういうこと。  
上大津西小学校が、また来年複式学級、平成33年度には複式学級2学級という見込みとなっており、そちらをまず何とかしようということで、その暫定的な対応を含めて2段階での実施を考えております。最終的には、現在児童が増加しております上大津東小学校が、教室数をもって平成35年度いっぱいぐらいまでということで見込みが出ており、遅くとも平成36年度には新しい何らかの方策が始められないと、学校がパンクしてしまうような状況もございますので、そこまでには何か方向性を決定して、実施したいということで今考えております。  
36年4月には新しい形になってないと、ですから例えば建築後、新校舎をつくるとなれば、そこまでにつくる、増築するならそこまでに増築する、そういうことが間に合うような時期に判断をするという形になります。  
5年後、5年半後。  
新築すると、基本設計、実施設計が1年ずつかかって、建築工事が場合によって2年かかりますから、4年ぐらい前には決めておかないと間に合わない形となります。  
学校をつくるということを何回か経験していますけれども、思ったより時間がかかります。普通の家を建てるのとは違う。これもオリンピックの年ということは平成32年。平成32年はないが、表記も西暦にしておいて、括弧して30、31で、32年のところは空欄しておく、そういう表記のほうがいいのかも。これからはいろいろなところで同じことがいえると思います。オリンピックの年に始まると。そのほかございますか。  
この委員さんの中には各地区の代表というか構成メンバーがいると思うんですけども、その中で上大津西小地区の方も菅谷小地区の方もこの方向性について大いなる反対意見というのは特段なかったという理解でよろしいですか。  
特に大きな反対意見はございませんでした。上大津西小学校地区の方は早期に菅谷小学校との統合を、また、菅谷小学校地区の方も上大津西小との統合については特に問題ないという状況でございました。

説田委員  
教育長

相互に比較的前向きに、わかりました。

土浦のやり方は、とにかくしゃべるだけしゃべらせて、もういいやというくらいに、説明会も小中一貫も時間をかなりかけています。言いたいことを大体皆言って、出尽くしたところでこうしましょうという委員長さんの判断で提言が出てくる形になっています。市町村によってはトップダウンで半年ぐらいでやるところもありますが、そうゆう所はトラブルも起こしています。土浦は経験的に今言ったようにしています。よろしいですか。

続きまして、花火競技会における生涯学習館の臨時休館及び図書館の開館時間の変更について、文化生涯学習課をお願いします。

文化生涯学習課

定例会資料 50 ページをお願いいたします。

本年 10 月 6 日に開催を予定されております土浦市全国花火競技大会でございますが、花火の会場の付近でございます生涯学習館につきましては、生涯学習館の駐車場が花火大会の臨時駐車場ということで利用するというようになっております。昨年度までは図書館が併設されておりました、図書館のほうの利用者がいたことから生涯学習館のほうも開館しておりましたが、貸し館としても利用者は混雑が予想されるために今までになかったというような状況でございます。こうしたことから、今年度からは貸し館のほうは行わないということで臨時休館とするものでございます。

また、今回駅前でございます図書館の開館時間につきましては、駅西口のペデストリアンデッキの通り口が午後 6 時に封鎖されてしまうということであったり、花火会場へのシャトルバスの運行が午後 2 時半から予定をされておりました、周辺の混雑が予想されますことから、通常午後 6 時までのところを 3 時間短縮いたしまして、午後 3 時までということで閉館の時間を早めるものでございます。

なお、アルカス土浦 1 階でございます市民ギャラリーにつきましては、貸しギャラリーの利用の方が花火のお客様の来場を見込んでいることであったり、1 階のためペデストリアンデッキの封鎖の影響が少ないことから、通常午後 6 時までの開館をするものでございます。なお、アルカス土浦管理組合のほうでも共用スペースの市民ラウンジだったり、ステップガーデン、屋上ガーデンにつきまして通常午後 8 時までのところを時間の短縮を検討しているというようなところを聞き及んでおります。

教育長

ただいまの花火大会の混雑対応でございます。よろしいでしょうか。

私から、これは警察の生活安全課との連携は取れているんですか。市と警察の話し合いの中で、土浦駅周辺については警察の指導があって駅に入るやり方も去年から変わっていますし、その辺は警察には了解を取っているんですか。

文化生涯学習課

警察のほうの指導でペデストリアンデッキの上りの口は大屋根のあるほう側から上らせるというようなことの指導がありまして、駅から降りてくる下りの方は下りられるんですけれども、そういったこともございまして、また、花火を担当しています商工観光課とも協議をいたしまして、この時間にしたいということでございます。

教育課

地域の危機管理という観点とかテロ対策とかいろいろで私服も大分入りますので、このことがきちんと警察のトップにもわかるように対応をお願いします。あと、ア

ルカスの組合と警察の間でもそういう話はしなければならないので、図書館が主体なので教育委員会のほうで組合のほうにもそういうことが必要だということ、部長あたりで調整して、とにかく複合施設なので誰が責任かという話が出てきますので、一番大きい施設を持っている教育委員会が主導でやっていくのが、特に最近テロということも考えられるので、これは想像を絶する人出ですので、3時くらいに天気によってはかなりの人が出ますので、全体で70万とか80万、どうやって数えるのか知らないですけども、かなり異常な人の出方ですので、よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、次は博物館のテーマ展についてよろしく願いします。

博 物 館

定例会資料の51ページ、52ページをごらんください。

博物館ではテーマ展「井戸のある暮らし」を開催いたします。土浦市は、霞ヶ浦、桜川などの河川に生まれ、水が豊かな場所ですが、飲料水や灌漑水の獲得には苦勞し、井戸を掘って利用してまいりました。江戸時代の初め、土浦では城の整備に伴い、真鍋の照井の井戸水を利用した上水道がつくられました。後期になると、城下の町人が江戸の職人を呼び、最新技術で掘抜井戸をつくりました。沼尻墨僊が描いた鑿井図、通称「井戸掘り図」と呼ばれていますが、これは全国でもまれな井戸掘り工程の経過を示した図です。これに関して、このテーマ展では、国指定重要有形民俗文化財である上総堀りの道具を拝借して展示いたします。このことについては52ページの7番の七つ目に上総堀りの道具というふうを示しております。

なお、51ページ、4のとおり、第17回世界湖沼会議の後援をいただき、鎌倉から昭和まで、各時代の人々と水、井戸とのかかわりをわかりやすくお目かけます。最後になりますが、関連行事は四つ用意しておりますけれども、近年恒例となりました(4)土浦第二高等学校茶道部による呈茶も「水に思いを寄せて」と題しまして実施いたします。どうかお出かけください。

教 育 長

世界湖沼会議とコラボするという事です。ご質問ございますでしょうか。

上高津貝塚お願いします。

上高津貝塚

定例会資料53、54ページをごらん願います。

上高津貝塚では、10月14日から開催いたします企画展「霞ヶ浦の誕生と貝塚—縄文海進期の人々の暮らし」について説明いたします。

今から1万年以上前、氷河期が終わり、地球規模で温暖化が始まりました。それに伴い海水面が上昇し始め、氷河期では陸地や谷であった霞ヶ浦にも海の水が入り込みました。この現象を縄文海進と呼んでおります。この縄文海進に伴い、沿岸では貝塚がつくられるようになりました。市内でも下坂田地区からこのころの貝塚が発見されており、海水が下坂田付近まで入り込んでいたことがわかりました。展示では、1万1,000年前から6,000年前の縄文海進のころにつくられた貝塚を紹介し、貝塚から当時の環境や人々の暮らしを探りたいと思います。

関連行事といたしまして、講演会、展示案内会、史跡めぐりを予定しております。また、10月から世界湖沼会議が開催されますので、今回の展示も多くの方に霞ヶ浦の興味関心も持っていただくきっかけとなればと思っております。

教 育 長

貝塚のほうからの説明でございます。1万年、縄文海進のところを中心に、下坂田

上高津貝塚 付近には3万年前の遺跡があったんですね。「土浦の3万年」展でありました。当時はまだ霞ヶ浦が存在してない時代でございまして、縄文海進によって海水が入り、今のような湖になったものでございます。

教 育 長 展示会はもう終わった。貝塚は土浦以外に霞ヶ浦のほうにもありました。あれは土浦ではないから今回は対象でない。

上高津貝塚 石岡や美浦村、千葉県の貝塚、また、横須賀の貝塚の資料を借用する予定です。日本で最も古いころの貝塚の資料を展示いたします。

教 育 長 ありがとうございます。世界湖沼会議では学芸員が発表する場面もあるわけですよ。

上高津貝塚 はい、分科会で当館の学芸員が発表いたします。

教 育 長 ぜひ土浦を大きくPRしていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

5番は全国学力・学習状況調査の結果についてお願いします。

【報告事項 「⑤平成30年度全国学力・学習状況調査結果の概要について」を協議】（非公開）

教育総務課 その他で、文化生涯学習課と国体推進課から報告がございまして、お手元に配付させていただいております資料につきまして、担当課からご説明させていただきます。

図 書 館 文化生涯学習課、図書館と市民ギャラリーでございまして、当日配付資料としてお配りいたしました図書館及び市民ギャラリーの来館者数等についてをお願いいたします。

昨年11月27日に開館いたしました図書館及び市民ギャラリーにつきましては、現時点での来館者数についてご報告させていただきます。

まず、図書館ですが、8月2日に累計来館者数が40万人を達成いたしまして、8月19日現在で43万3,820人となっております。今年1月21日には、開館45日目にして10万人を達成いたしまして、市内在住の土浦二小に通う小学校1年生の女の子に記念品を贈呈させていただきました。その後、約2カ月で同様のペースで10万人にご利用いただいております。このペースでいきますと10月上旬には50万人目が見込まれておまして、50万人達成の際にはまた記念品の贈呈など記念式典の開催を予定しております。

また、貸出者数、貸出冊数につきましても、表に記載のとおり、1日平均ですと来館者数1,838人、貸出者数598人、貸出冊数2,009冊となっております。多くの皆様にご利用いただいております。

次に、市民ギャラリーですが、図書館と同じ8月2日の時点で来館者数が3万5,000人を超えまして、8月19日現在で3万6,170人となっております。これまでに開催された展覧会数は開館以来40件となりまして、平成31年3月末までの予約も含めると、合計で69件となっております。また、開館以来の主要収入の額は241万9,700円となっております。

なお、図書館、市民ギャラリーとも、第8次土浦市総合計画におきまして、成果指標、目標値を設定しております。図書館が年間40万人、市民ギャラリーが年間

3万2,000人との利用者数の目標値を定めておりまして、年間の目標値ですので正式なデータではございませんが、開館から約9カ月で両施設とも達成しております。

教 育 長

ありがとうございます。ただいまのギャラリーと図書館の利用について、かなりハイスピードで、なかなか行政で1年の目標が3分の2で達成するということは余り事例を聞いたことがないので、このペースで、図書館はいろいろな新聞とか報道でも館長のいろいろな情報発信が上手というか人脈とかいろいろあると思うんですけども、大分いろいろなところで出ていますので、ぜひこの調子で突っ走って、数が問題ではないですけども、土浦の情報発信としてはいいと思います。これ、小学校の図書館に司書を土浦全校に置いているんですけども、小学校の図書館との連動というのはどうなっているんですか。

図 書 館

現在、小学校のほうには学校ごとに配送しておりまして、結構アナログな対応をしておりまして、自治体によってはパソコンで入れましてデジタルでも対応している自治体もございまして、今いろいろ事例を探っているところではあるんですが、かなりの費用が伴うということで、今の6カ年計画のほうでは検討事項として挙げさせていただきましても、いろいろな費用対効果ですとか、今のアナログの状態でも割と本を読むお子さんがふえていまして、効果は上がっていると思っておりますので、その辺りを今後考えて、検討というか勉強していきたいと思っております。

教 育 長

現在はネット上での連動はないということですね。図書館司書を全校に配置している市町村は余りないですね。その割に子供たち一人一人の読書数は少ない。そういうことも含めて今後よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございます。続いて国体お願ひします。

国体推進課

資料は白黒で見づらくて申しわけなかったんですが、国体の大会リハーサル大会の様子の写真が両面刷りになっています資料のほうをごらんになっていただければと思います。

今月8月に開催いたしました水球競技リハーサル大会及び相撲競技リハーサル大会の結果についてご報告いたします。

初めに、水球でございますが、第73回国民体育大会関東ブロック大会をリハーサル大会として位置づけまして、8月4日と5日の2日間にわたり、土浦第二高等学校のプールで開催をいたしました。この大会は本年10月の福井国体の出場権をかけた関東地区の予選大会でもありますが、1都7県から115名の選手、監督が参加いたしまして熱戦が繰り広げられました。結果、東京、埼玉、群馬県が福井国体の出場権を獲得しまして、茨城県は残念ながら出場権を得ることができませんでした。続きまして、裏面でございます。相撲競技でございますが、第57回全国教職員相撲選手権大会をリハーサル大会として位置づけまして、今月19日に霞ヶ浦文化体育会館において開催をいたしました。大会には1都20県から91名の選手が参加いたしまして、団体の部では三重県が優勝、そして茨城県は3位に入賞、個人戦におきましても、こちらに記載はございませんが、東洋大牛久のヤマモト先生がベスト8に入る健闘を見せまして、大会を盛り上げました。

また、大会概要の下のほうの欄に記載させていただいておりますが、水球、相撲の



両会場には、市内の小中義務教育学校にご協力をお願いいたしました 47 都道府県の手作り応援のぼり旗や花いっぱい運動のプランターを飾りまして、大会に彩りを添えていただいたところでございます。

これらのリハーサル大会には、本番さながらに市の職員を係員として配置いたしまして、競技会の運営に当たりましたが、大きな問題もなく、よい予行練習ができたと考えております。今後、リハーサル大会を実施したことによりまして、見つかった課題などを整理いたしまして、本大会に生かしてまいりたいと考えております。

教育部長 追加ですが、水球のほうは今年開催される福井国体の関東予選会ということなのですが、高校生のチームでの試合でございましたので、出場するのは高校生のチームとなります。

教育長 本番は一般も入るといいますか。

教育部長 本番も当然高校生です。

国体推進課 来年の国体本番はこれまでの国体で初めて女子の部が設けられまして、こちらについては今日水連からのお話ですと、かなり上位を狙える、優勝を狙えるチーム、選手がいるというお話を伺ってございます。

教育部長 男子は高校生で、女子は一般ということで高校生も含めたチーム編成になります。それは来年から。女子は茨城国体が最初ということです。

教育長 リハーサル大会は、高校の軟式野球がやっていますので、一般は別の所でやるんですか。

国体推進課 11月に予定してございます。

教育長 土浦ですか。

国体推進課 土浦で11月に。

教育長 リハーサル大会は残り一つということです。よろしいでしょうか。そのほかございますか。

教職員の人事異動に関しては、担当の方以外は退席ということでお願いいたします。

【報告事項 「⑥土浦市公立学校県費教職員の人事異動について」を協議】（非公開）

教育総務課 それでは、次回の日程と、別にお配りしております研修会のご案内をさせていただきます。

まず、オレンジ色の資料、「2018年土浦の教育」をお配りしてございます。29年度の実績等を載せてございますので、後程ご覧いただければと思います。

次回の定例会の日程でございますが、先月の定例会でも臨時会の開催ということで一般質問の通告があった場合、お諮りする内容のご質問があった場合は、9月3日の月曜日の夕方5時からということで予定をお願いしたいと考えてございます。ない場合には事前にご連絡をさせていただきます。

9月の定例会でございますが、第4週の火曜日9月25日の午後4時からということでお願いできればと思っております。

最後に、ご案内でございます。2件ございます。まず1点目、資料はございませんが、平成30年度の茨城県市町村教育委員会の研修会のご案内でございまして、メールで研修会の概要が届いておりますので、取り急ぎご連絡をさせていただきます。日時が10月3日の水曜日でございまして、午後1時半から3時半までの予定となっております。場所がホテルレイクビュー水戸、参加者は教育長及び教育委員となっております。参考までに、昨年度は松延委員が出席をいただいております。研修内容につきましては、白駒妃登子氏の講演が予定されております。参加者につきましては、9月の定例会でご回答いただければと思いますので、後ほど正式な通知をメールにてお送りしまして、9月の定例会時に参加者のご回答いただければと考えてございます。

もう一つ、お手元に配付をさせていただいております平成30年度の市町村教育委員会研究協議会第1ブロックの開催についてでございます。こちらも8月10日付で茨城県の教育委員会より開催通知が来てございます。

2枚目をお願いいたします。

開催概要となります開催日時につきましては、10月15日、16日の2日間、場所が山形県山形市、ホテル山形テルサでございまして、内容のほうは基調講演、パネルディスカッション、事例発表、研究ということになってございます。第1ブロックとしまして、対象者は、東日本の24都道府県の市区町村の教育委員会の教育長、教育委員、事務職員なりまして、昨年は茨城県のつくば市の国際会議場で実施された関係で、井坂教育長が出席されています。近県で実施される場合は参加していますが、参加される場合は、8月中旬に事務局にご連絡をいただければと思います。お忙しいとは思いますが、ご案内ということで二つの研修会のご連絡をさせていただきました。

教 育 長

ただいまの件でご質問ございますか。

では、次回は9月25日の火曜日ということで、一般質問があった場合は臨時的に9月3日の5時からを予定するというところでございます。

以上で会を閉じます。ありがとうございました。